



箕面滝道ふれあい広場での活動を募集しています！

箕面滝道での「足湯棟」や「イベント棟」などのハード整備事業（大阪観光株所有地）が12月末に完了します。ついでに、非営利団体による「滝道ふれあい広場」や「イベント棟」を活用した山麓保全活動を募集しています。

- | | |
|---|---|
| <p>1、活動の内容・・・広場でのイベント実施や活動拠点としてのイベント棟の利活用</p> <p>①、箕面の自然、文化・歴史、観光などの情報の発信</p> <p>②、ハイキング道の案内や安心・安全情報の発信</p> <p>③、その他「山麓ファンド」の目的に資する活動</p> | <p>2、募集期間：平成27年1月5日（月）～1月31日（土）
* イベント棟の利活用について</p> <p>3、活動対象期間 平成27年4月～平成28年3月</p> |
|---|---|

非営利団体によるイベント棟や広場の運営計画の取りまとめを、中間支援組織であるNPO法人みのお委員会が行っています。
★「滝道ふれあい広場」でのイベントについては、随時受付をしていますが、申込順ですのでお早めにご連絡をお願いします。



公益信託「みのお山麓保全ファンド」特別助成（ハード整備）
「滝道広場ふれあい創造事業」事業概要 申請者：大阪観光株式会社

本事業として申請された既存施設（2棟）は、大阪観光株の所有物件であり、箕面の顔ともいえる箕面滝道に位置している。以前は飲食店として使用されていたが、平成25年12月末をもって閉店しており、箕面滝道の景観や魅力づくりの点で課題となっていた。天然温泉を利用した「足湯棟」、及び非営利団体の活動拠点としての「イベント棟」として施設の改修や活用方法の変更を行うことにより、豊かな自然環境を背景とした箕面のまちづくりに貢献する。

★「イベント棟」・・・観光地スポットやハイキング道の案内、安心安全の活動、箕面の自然や文化・歴史などを対象とした情報発信の活動、非営利活動の資金確保など。

★「足湯棟」・・・無料提供及び公益信託「みのお山麓保全ファンド」への募金箱設置
イベント棟や広場の利用に関して、山麓保全ファンドの目的に資する非営利団体と連携することにより、「滝道広場ふれあい創造事業」を行う

総事業費：14,600,000円 助成額：10,000,000円（助成率68%）

本事業は、公益性が高いことから4/5（80%）助成に該当すると評価され、イベント棟・足湯棟・周辺広場が一体のものとして「滝道広場のふれあい事業」であることから、限度額の10,000,000円の助成として採用されました。

【特別助成】

（財）民間都市開発推進機構から、住民参加型まちづくりファンドへの資金支援として「山麓ファンド」に拠出された箕面の山麓を活かしたまちづくりや地域コミュニティ形成のための施設整備型のハード事業です。

生物多様性の保全と野生鳥獣との共生（シカによる食害）

近年、増えすぎたニホンジカ(以下シカ)の食害により、箕面の山間・山麓部では、シカの不嗜好(きらいな)植物だけが繁茂し、シカの口が届くおよそ1.5mの高さ以下の植物が食べられるなど、箕面の森林と貴重な植物やそこに暮らす生き物などの生態系に大きな影響が現れています。農作物やスギ・ヒノキ林にも被害が出ています。



2008年5月 道いっぱいに広がるシャガ



2011年12月 少し残っているシャガ

清水谷では、6年前には道いっぱいにシャガが広がっていましたが、現在このような風景は見られなくなりました。



イワヒメワラビとマツカゼソウの群落(2014年)



イワヒメワラビ



マツカゼソウ

道沿いに、マツカゼソウ・イワヒメワラビ・タケニグサ・ダンドボロギク・アセビ・シロダモなど、シカの嫌いな植物が多く見られる場合は、シカによる食害は深刻といえるでしょう。

影響が少ない ← 森林植生の衰退度(シカによる食害) → 影響が大きい



*写真は兵庫ワイルドライフモノグラフから引用

シカの食害により森林の下層植生の衰退が進むと、本来森林のもつ水源涵養機能の低下が危ぶまれ、大雨が降ると土砂の流出が心配されるなど、山すそに住む私たちの暮らしにも関わってくる身近な課題となっています。

「シカによる食害」対策の取り組み

- 1、シカによる食害対策ネットの設置
…植生を守るための緊急避難的な対策
- 2、個体数管理 …本格的な対策実施
- 3、モニタリング調査 …管理目標として活用
- 4、広報及び啓発



明治の森箕面国定公園内でもくくりワナや囲いワナにより、増えすぎたシカの捕獲を行っています。左のような看板を見かけたときは近寄らないようにご注意ください。

滝道ふれあい広場で「平成のぞきからくり」を上演します！

平成27年1月3日10:00から上演*雨天中止

「のぞきからくり」とは、のぞき穴のある箱の中にストーリー仕立てにした絵が何枚も仕掛けられていて、口上(説明)する人の話にあわせてその絵が入れ替わって行く見世物です。江戸末期に発生し大正年間には全国に広がり、太平洋戦争前まで、一般大衆に親しみ楽しまれてきた娯楽でしたが、映画やテレビの普及により過去の遺物となり、その語りも装置も全て消え去ろうとしています。昔懐かしい今ではすたれて知る人の少ない「のぞきからくり」を、今風に変えて「平成のぞきからくり」として復活させようとする、全国でも数少ない試みです。

【主な演目】

萱野三平物語「四十八人目の義士」

箕面は萱野三平が誕生した地です。浅野内匠頭が吉良上野介に対し殿中刀傷に及んだことにより切腹となり、三平が第一報を赤穂へもたらすときに、途中実家の前を通り、母の葬儀に出会うが涙ながらに赤穂へ向かった。その後討ち入りの日実家の一室で自害したというお話です。

「役の行者」(えんのぎょうじゃ)

修験道の開祖とされており、飛鳥時代から奈良時代の実在の人物ですが、伝えられる人物像は後の伝説によるところが大きい。役の行者にとって箕面は特別縁の深いところ。

主催：ええみのお推進市民の会



今後、滝道ふれあい広場で定期的上演する予定

山林所有者の悩み相談会

平成27年2月6日(金)7日(土)午前10時~12時
対象：山なみ景観保全地区



四季折々に美しい市街地から望む箕面の山なみ「山なみ景観保全地区」の約80%は民有地であり約350人の地権者が所有しています。昔は山に経済的な価値があり利用されていましたが、現在では利用されることが少なく、高齢化や相続などにより、自分の山がどこにあるかわからないなど、いろいろな悩みがあります。自分の山に関心を持ってもらうことなどを目的として、「山林所有者の悩み相談会」を行います。事前予約が必要です。みのお山麓委員会事務局までご連絡ください。携帯：090-1133-3615

手入れをしたいけど
高齢なので山に行けない！

自分の山がどこにあるのかわからない！

遠隔地に住んでいるので
山に行けない！

大雨が降ると、土砂災害がおきるのではと、心配！

勝手に人の山に入って
ゴミを捨ててる人がいるので
困っている！・・・

山を売りたいけど売れない
寄付したいけど、どうしたら
いいかわからない！・・・

山火事防止にご協力をお願いします！

冬は空気が乾燥することが多く、いったん山火事が発生すると急激に燃え広がるおそれがあるために十分な注意が必要です。森林は一度焼失すると、その大切な機能を回復するまでには長い年月が必要になります。山火事防止のため、次のことに注意してください。

- ・山林内で、たき火はしないでください！
- ・タバコは許可された場所のみで喫煙し、吸い殻は必ず消して投げ捨てはしないでください！
- ・携帯コンロなど、火を使用するときは許可された場所のみで実施し、火の始末を完全にしてください！



平成26年4月 導心谷池(白島)土手周辺の火事

「タバコの投げ捨て」「たき火」「野焼き」など、山火事の原因の多くは人の不注意によって起きています。かけがえのない貴重な財産である箕面の森を守るために、山火事防止にご協力をお願いします。

緊急ポイントの番号は、緊急時の通報の際に場所を伝える目印としてご利用ください。

箕面の森の各所に、「箕面の森案内板」を設置していますが、その案内板の下部に、緊急ポイントのプレートを取り付けています。消防本部は、緊急ポイントの位置を把握していますので山火事や山での事故など、緊急時における通報の際に場所を伝える目印として利用してください。



公益信託「みのお山麓保全ファンド」平成27年度助成 2月期募集!

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために山林所有者や市民の活動を、資金面から応援(助成)する仕組みです。NPO法人みのお山麓保全委員会では皆さまの活動支援や助成などの相談、受付などを行っています。お気軽にご相談ください!

- ◆申請受付期間: 平成27年2月1日(日)~2月28日(土)
- ◆助成の流れ: 申請受付(2/1~28) ⇒ 運営委員会で助成決定(3月下旬) ⇒ 助成(4月下旬ごろ)
- ◆助成金額: ○一般助成...1件あたり25万円以内
- 特別助成(ハード整備) ...1件あたり25万円超
- ◆助成対象となる事業の期間: 平成27年4月1日~平成28年3月31日

平成26年度公益信託「みのお山麓保全ファンド」一般助成の実績

- 山林所有者(自然緑地等指定同意書提出者)による活動を助成
件数: 70件、金額: 6,623,200円を助成
- *山林整備サポート(ボランティアによる山の手入れ) 要請件数: 34件
- 市民団体等による活動を助成 件数: 14件、金額: 1,943,800円を助成



団体名	保全活動名	助成金額
みのお里山ふれあいプラットフォーム	里山林の手入れ(六個山)活動日:毎月第3日曜	¥ 67,000
しおんじ山の会	活動日:毎月第1日曜、防鹿ネット設置、マキの活用	¥ 215,000
箕面の森の音楽会実行委員会	瀧安寺前広場や市民イベントでの音楽会、募金活動	¥ 200,500
箕面だんだんクラブ	体験学習の森等で竹林の整備と再生、間伐材の活用	¥ 250,000
箕面の山パトロール隊	不法投棄パトロール、クリーンハイキングなど	¥ 250,000
とんど山桜園の会	伝統的な里山文化(めんぎょ)の開催、桜園整備	¥ 143,000
みのおエコクラブ	農と緑のふれあい体験学習広場:農作物育成や観察会	¥ 242,000
かやの中央まち育て交流会	伝統行事(まんどろ)の復活、まんどろ火祭り実施	¥ 250,000
杜の会	民有林の整備(外院・石丸)、活動日:毎月第2日曜	¥ 35,800
外院の杜クラブ	椎茸作りなど、小学生対象の森の授業(外院の杜)	¥ 10,000
Vitalink(ヴィタリンク)	赤外線センサーカメラを活用した自然観察会など	¥ 50,000
みのお竹林クラブ	タケノコ作り、間伐材を活用したキノコの育成	¥ 90,000
みのお川を美しくする会	箕面川下流のゲンジボタルの調査や保護、啓発活動	¥ 30,000
箕面マウンテンバイク友の会	マウンテンバイクの山麓部におけるモラルやマナー向上	¥ 110,500

箕面の森の守りびとに なりませんか! 公益信託「みのお山麓保全ファンド」サポート会員

みどり豊かな山なみは、大切に残していきたい貴重な財産です。四季折々に美しい箕面の山のみどりを守り、育て、活かすために「箕面の森の守りびと」(みのお山麓保全ファンドサポート会員)を募集しています。

募集中



公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績 期間:平成26年1月~12月10日

▼ 「箕面の森の守りびと」会員	嶋村葉子さま他 個人の会員	...	¥ 340,000
▼ みのお山麓保全ファンド	箕面ネイチャールーム倶楽部	...	¥ 78,534
募金支援 自動販売機	1JYOスポーツ・大阪観光株	...	¥ 31,268
▼ イベントでの募金	山なみ景観写真集実行委・箕面の森の音楽会	...	¥ 111,742
▼ 募金箱 その他	園芸高校協力/花苗配布・募金箱など	...	¥ 116,138
▼ インターネット募金	GiveOneNPOオンライン寄附サイト	...	¥ 22,950
▼ 企業・団体からの募金	阪急電鉄・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト	...	¥ 209,366
▼ 箕面市の「ふるさと寄附金」(山麓保全)		...	¥ 209,000
計			¥1,118,998

NPO法人 みのお山麓保全委員会
 電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615
 メール: yama-nami@yama-nami.net
 ホームページ: www.yama-nami.net (検索: 山なみネット)
 *箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」
 *NPO山麓委員会は、山麓保全ファンドの募集・PR・申請受付などの事務の他、活動の相談や支援などを行っています。

